

最終講義テーマ

溶接研究四十年（-溶接・接合部の材料挙動の定量的取扱い-）

略 歴

昭和45年	3月	大阪大学工学部溶接工学科卒業
昭和47年	3月	大阪大学大学院工学研究科溶接工学専攻修士課程修了
昭和51年	12月	大阪大学大学院工学研究科溶接工学専攻博士課程修了
学位論文題目：“安定形オーステナイトステンレス鋼におけるナイフラインアタック現象に関する基礎的研究”		
昭和52年	1月	大阪大学工学部助手
昭和58年	4月	大阪大学工学部助教授
平成8年	2月	大阪大学工学部教授（生産加工工学専攻：固相加工学講座）
平成10年	4月	大阪大学大学院工学研究科教授 （生産科学専攻：知的プロセッシング工学講座）
平成17年	4月	（マテリアル生産科学専攻生産科学コース 生産プロセス講座）
平成24年	3月31日	定年退職

研究領域

西本教授の研究は、一貫して溶接・接合部の材料挙動解明を基軸とする溶接・接合プロセス材料科学に関するもので、この分野における学術基盤の構築から実技術への展開並びにその応用として先進材料の溶接・接合や新接合プロセスに関する材料科学に至る多岐の領域に及んでいる。主なものは、ステンレス鋼やニッケル基超合金を主とする耐食・耐熱合金に関する溶接研究（特に、耐食性・溶接割れ研究）、溶接・接合に関わる材料学的現象の定量的取り扱いに関する研究、難接合性の先進材料に対する新接合プロセスの適用研究、レーザ、イオンプレーティングなどによる表面改質プロセスに関する研究、などである。

功 績

・受賞

(社)溶接学会 学会賞、貢献賞、業績賞、論文賞（2件）、フェローの称号
(社)日本高压技術協会 科学技術賞、科学技術振興賞
(社)日本溶接協会 会長特別表彰

・学内

全学留学生委員会委員、工学部・工学研究科マテリアル生産科学専攻長、評価委員会委員、接合科学研究所外部評価委員会委員長などを歴任した。

・学外

(社)溶接学会会長、監事、企画委員会委員長、論文査読委員会委員長、溶接冶金研究委員会委

員長、国際溶接学会日本大会実行委員会総務委員長、国際溶接シンポジウム実行委員長、日本溶接会議理事長を歴任し、また、その一方で、国際溶接学会（IIW）理事、(社)日本溶接協会、溶接管理技術者評価委員会委員長、特殊材料溶接技術研究委員会委員長、宇宙機溶接技術研究委員会委員長、H-IIA 特殊工程アセスメント委員会委員長、発電設備用溶接評価委員会委員長を務めている。さらに、原子力発電設備の溶接・接合・維持技術に関わる学会や政府関係の各種委員会の委員長を歴任するとともに、(社)機械学会や(社)日本溶接協会における原子力構造物の健全性及信頼性確保に向けた溶接規格の策定に関わる委員会委員長や主査を務め、この分野での溶接技術の信頼性向上に寄与し社会貢献を果たしている。